令和８年 11 月２日発行

アコヤガイモニタリング調査結果

（調査日：令和 8 年 10 月 30 日）

愛媛県農林水産研究所水産研究センター

１　調査結果の概要

・貝肉の状態は、前月から大きな変化は観察されず、閉殻筋グリコーゲン含量は、概ね健康度の指標となる 3%を上回った

・閉殻筋の赤変個体は確認されず、赤変度合いを示すａ値の平均値も低かった

・一部海域で真珠層の褐変個体が確認されたが、死亡の増加等大きな影響には至っていないと考えられる

・今後水温が低下することから、貝の状態が大きく悪化することはないと考えられますが、水温が高く、餌料プランクトン量が少ない状態が継続していますので、引続き貝の管理に御注意願います。

２　調査結果一覧

（　）内は昨年同月の値

漁　場[*1]	貝の種類（Ｒ５産）	グリコーゲン含量 平均値（%）	ａ　値 平均値	赤変個体（個）	褐変個体 出現率
北　部	日中交雑貝[*2]	4.9（4.9）	−0.1（−1.7）	0	20%(10)
中　部①	日中交雑貝	3.6（2.6）	−0.1（−0.8）	0	5%(0)
中　部②	日中交雑貝	3.5（3.4）	−0.7（−0.6）	0	0%(0)
南　部	日中交雑貝	2.8（2.7）	−1.0（−0.1）	0	0%(0)
平均値		3.8（3.4）	−0.5（−0.8）		

＊1　漁場：　北部：三浦半島以北　中部：由良半島から三浦半島　南部：由良半島以南

＊2　日中交雑貝：日本貝と中国貝の交雑貝

３　調査方法

・５月から 11 月まで月１回（概ね第３週）、各漁場・種類毎に 20 個を調査。

・サンプルは、愛媛県漁業協同組合本所宇和島事業部が、調査日２日前をめどに各漁場で採取して持ち込んだアコヤガイ母貝（２年貝）。

４　調査項目および判断指標

・グリコーゲン含量（%）：アコヤガイの栄養蓄積状態を示す指標で、数値が高いほど良好。

・ａ値：閉殻筋（貝柱）の赤色度を示す指標で、数値が高いほど赤みが強い。

赤みを帯びた黄色で３、明らかな赤色で５以上。

「アコヤガイ飼育管理の手引」公開中

https://www.pref.ehime.jp/uploaded/attachment/111520.pdf